※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	最新政治・経済（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治・経済では「公共」で学んだ知識をさらに深く学びます。日々のニュースを取り入れながら学んでいる内容と関連性を持たせながら授業を展開します。社会の仕組みや、抱えている課題を多面的、多角的、批判的にとらえ、考察する力を身につけます。

評価は、学習状況の観察、授業プリント・ノート、課題、定期考査、振り返りシートで行います。

2　学習の到達目標

1.　社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

２.国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。

３.よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成により積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・政治と法の意義と機能，基本的人権の保障と法の支配，権利と義務との関係，議会制民主主義，地方自治について，現実社会の諸事象を通して理解している。 ・経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動，財政の働きと仕組み及び租税などの意義，金融の働き	・民主政治の本質を基に，日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・市場経済の機能と限界，持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考	・国民主権を担う公民として，現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち，課題にかかわる知識を主体的に深めたり，課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。

※令和４年度以降入学生用

	と仕組みについて，現実社会の諸事象を通して理解している。	察，構想し，表現している。	
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	現代日本の政治	・現代国家と民主政治 ・日本国憲法と基本的人権 ・日本の政治制度と政治参加	a：政治と国家，政府が何であるかについて、法の意義と役割のほか，法の分類についても理解している b:政治とはどのような営みか，自身の身近な事例にも言及しながら考察し，適切に表現している。 c:国民主権を担う公民としての自覚をもとに，民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察
	現代日本の経済	・現代の経済社会 ・現代の日本経済と福祉の向上	a:生産・分配・消費，希少性，トレードオフ，機会費用など，経済の根本的な概念について、資本主義経済の成立と展開，経済における政府の役割の変化について理解している。 b:資本主義経済の成立以降，経済社会がどのように展開していったか，政府の役割の変化と関連させて考察している。また、大きな政府と小さな政府の考え方について，協働的に考察・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に，経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。また、資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

	現代日本における諸課題の探究	・日本経済のあゆみとこれから	a:各課題に関連する知識を整理し，理解している。また、各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 b:社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，各課題の解決策を多面的・多角的に考察，構想し，持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明，論述している。 c:よりよい社会の実現のために，現代日本の諸課題を主体的に追究し，他者との協働もはかりながら，多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察
	現代の国際政治	・国際政治の動向と課題	a:主権国家と国際社会の成り立ちについて理解している。また、二度の世界大戦を契機として，国際法に大きな変化が生じたこと、国際司法裁判所や国際刑事裁判所が設立され,NGOをはじめ多様な主体が活動するなど，国際政治に変化が生じていることを理解している。 b: 国際政治や国際法はどのようなものなのか，国内政治や国内法との違いに着目してまとめるなど，適切に表現している。また、世界政府のような超国家的存在を設けた場合の問題点について，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c:NGO の取り組みについて主体的に追究し，環境保護や人権擁護に関する課題の解決を意欲的に検討している。また、よりよい社会の実現を視野に，主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを，他者との利害調整といった社会生活に生かそうとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

	現代の国際経済	・国際経済理論 ・国際経済の動向と課題	a: 自由貿易のメリットを，比較生産費説をもとに理解している。また、円高や円安が日本経済に与える影響について，輸入業者や輸出業者の具体的な取引をもとに理解している。 b:自由貿易が世界全体の発展に寄与するという仮説が適切かどうか，協働的に考察し，それを表現している。また、日本経済にとって，円高傾向がよいのか円安傾向がよいのかについて，協働的に考察し，それらを適切に表現している。 c:自由貿易を推進するメリットと，近年先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に追究し，望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとしている。また、円高や円安が輸出・輸入価格に影響することを踏まえて，社会生活に生かそうとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察
	国際社会における諸課題の探究	・SDGsの実現に向けて	a:各課題に関連する知識理解している。また、各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 b:社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，各課題の解決策を多面的・多角的に考察，構想し，持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明，論述している。 c:よりよい社会の実現のために，国際社会の諸課題を主体的に追究し，他者との協働もはかりながら，多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度